

社団法人日本経営工学会
第31期 第1回理事会議事録

日 時：平成23年7月9日（土）15：00～18：20

場 所：早稲田大学理工学術院51号館9階経営デザイン会議室

出席者：理事

大成尚、荒井良尚、河野宏和、開沼泰隆、葛山康典、後藤正幸、斎藤文、高橋勝彦、
中島健一、中出康一、吉本一徳

監事

玉木欽也、松川弘明

欠席者：理事

石井和克、水山元

議決事項

定款第36条第2項に則り、議事録署名人として、議長である大成尚会長、監事である玉木欽也氏ならびに松川弘明氏の3名を選任した。

1. 代表理事の選任の件

庶務担当理事より、定款第21条第2項に則り、会長に選任された大成尚氏を一般法人法上の代表理事として選任する提案がなされ、全会一致で承認された。また、大成会長より役員候補の推薦及び代議員選挙規則第19条(2)に則り、荒井良尚理事と河野宏和理事を副会長に指名した報告があり、定款第21条第3項により、一般法人法上の業務執行理事となることを全会一致で確認した。

2. 議事録の確認

庶務担当理事より、資料1-1に基づき、平成23年5月29日（水）に愛知学院大学日進キャンパスにて開催された第30/31期理事会引継会議事録（案）と第31期理事会準備委員会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

3. 入退会の承認

会員担当理事より、現時点での会員数が資料1-2に基づき、正会員入会6名、正会員から名誉会員への移行4名、退会2名、学生会員入会1名、賛助会員退会1社の説明があり、全会一致で承認された。

4. その他

なし

協議事項

1. 第31期の活動方針について

大成会長より、資料1-15に基づいて、次回理事会までに考察しておくべき事項が報告され、意見聴取が行われた。学会のミッションや基盤など大きく取り捉える必要性や企業に対するアプローチの必要性（企業会員の維持）、ならびに、企業人に魅力あるサービス（講演会など）の提供、IE協会と連携、インターンシップの実施による学生の教育、中高校生に対するアピールの必要性などの意見や、企業を取り巻く社会構造の変化に学会が対応していないことに対する問題提示などがなされ、多機能人材の育成、経営の視点の導入などを含むワーキンググループを作ることで見解がまとまった。以上の協議を夏季休暇中に各自検討し、次回の理事会にて継続審議を行うこととなった。

2. 2013年度大会の当番支部について

大会担当理事より、資料1-3に基づき、東日本大震災の影響で2011年春に中部支部で臨時開催したが、2013年秋にもまた中部で開催すべきかどうかの諮問がなされた。現行の主権支部のルールでは、4年に3回が西関東支部の1支部、4年に1回が関西・中部の2支部、8年に1回が北関東・東関東・中国四国・九州の4支部、12年に1回が北海道・東北・北陸の3支部となっているが、既存の支部は新定款により支部の委員会という取扱いになっているため、従来の支部の枠組みではなく、エリア順などを含め、新たな当番割のルールを決めることとなった。2013年秋の大会は、中部支部で開催予定であったものを北関東支部開催とし、2014年秋以降は大会委員会と会員委員会で協議し、再検討することとなった。また、大会を土日に開催しているが、社会人の参加を含め、開催曜日の再検討を行うこととなった。

3. 第31期委員会委員について

庶務担当理事より、資料1-4に基づき、第31期委員会委員の名簿が紹介された。編集委員会以外の委員会の名簿については承認された。編集委員会については、編集委員会を稼働させるためにも、担当理事が委員の増員理由を含めて委員会の構成について会長に説明し了解を得るという前提で、提案の21名の委員を承認した。また、会長は次回の理事会で経過を報告することとした。

4. 支部長の承認について

庶務担当理事より、資料1-5に基づいて、第31期支部長の候補者が紹介された。新法人の定款に支部の記述がなくなったため、現存している支部をどうするかを検討することは今期の理事会の重要検討事項であることが確認され、当面、現行で運用することとし、新支部長が全会一致で承認された。

5. 研究部門運営細則について

研究担当理事より、公益法人に合わせ訂正した細則案が提案された。第2条の目的および第3条第2項の研究部門設立区分の再検討の必要性、ならびに、定款に研究部門の条項が明記されていない現状を鑑み、来年4月からの運用に向けた方向性は承認するものの、庶務委員会とともに継続協議を行うこととなった。

6. その他

財務担当理事より、新定款について担当した司法書士などから説明を受ける必要性が提言され、会長、副会長、監事、庶務担当理事などが、この説明会に参加することになった。

報告事項

1. 庶務担当理事より、資料1-7に基づき、公益社団法人の登記について説明がなされ、新役員による登記の変更が行われる旨が報告された。
2. 人材育成、企画担当理事より、資料1-8（委員会第1回議事録）に基づき、当期の事業計画の説明がなされた。
3. 財務担当理事より、資料1-9に基づき、第1四半期決算について説明がなされた。
4. 財務担当理事より、資料1-16に基づき、経理規則見直しについて説明がなされた。
5. 財務担当理事より、公益法人化に関わる会計の取り扱いについて、支払承認処理を行う手続きを新たに行うこと、および、経営工学会名義で支部の分の口座を開設したことの説明がなされた。
6. 河野副会長が国際渉外担当理事の代理で、資料1-14に基づき、協賛承認事項についての説明がなされた。
7. 大会担当理事より、資料1-10に基づき、平成23年度秋季大会の事業計画ならびに平成24年度春季大会の担当支部について報告がなされた。
8. 大会担当理事より、資料1-11に基づき、大会規則の改定案を今後提案することが報告された。

9. 論文誌編集担当理事より、資料 1-12 に基づき、掲載料・別刷代請求入金状況が報告された。
10. その他
- (ア) 編集業務の見直しを行う編集特別委員会を今年度に限り、開設可能かどうかを検討することとなった。
 - (イ) 前理事会からの継続事業として、60 周年記念事業の継続協議が行われることになった。

次回第 31 期第 2 回理事会は、平成 23 年 9 月 17 日（土）早稲田大学理工学術院 51 号館 3 階第 2 会議室にて 15：00～18：00 で開催する。

議 長 大成 尚 印

議事録署名人 玉木 欽也 印

議事録署名人 松川 弘明 印